



萱中だより

《校訓》 礼儀 自主 勤労 協同
三笠市立萱野中学校 校長 元木 和芳
三笠市萱野192番地 Tel. 2-2308
平成26年9月30日発行【特別号】

「全国学力学習状況調査」の結果について

〈文責：教頭 小玉智士〉

4月22日に全国の中学校3年生を対象として実施されました「全国学力学習状況調査」の結果が報告されました。全国や全道の結果については報道機関を通じ公表されましたのでご存じのことと思います。この紙面におきましては、本校の3年生の結果の概略をお知らせいたします。

学力調査は、国語と数学に限定されています。また、その測られている学力の分野も下記に示すとおり限定されています。したがって全体の学力を測るものとはおりませんが、子どもの学力の状況を知る客観的な資料として分析し、今後の指導に役立てていきたいと考えています。

今回の結果では、国語・数学の「主として知識（A問題）」、「主として活用（B問題）」ともに全国平均を上回る結果となりました。

【学力調査から】

◎言語に関する基礎的知識・技能をみる「国語A」

全体としての結果は全国平均正答率よりやや高い結果となっています。国語科の領域ごとの全国平均正答率との比較については次の通りです。

「話すこと・聞くこと」…高い 「書くこと」…やや低い
「読むこと」…高い 「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」…やや高い

【正答率が全国に比べ特に高かった設問の出題趣旨】

- 登場人物の言動の意味を考え、内容を理解する。
- 話し合いの方向を捉えて司会の役割を果たす。
- 古典と昔話とを対応させて内容を捉える。
- 文字の大きさ、配列などに注意して書く。

【正答率が全国に比べ特に低かった設問の出題趣旨】

- 書いた文章について意見を交流し、文章を書き直す。
- 歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直して読む。

◎知識・技能を活用する力をみる「国語B」

全体としての結果は全国平均正答率よりかなり高い結果となっています。国語の領域「書くこと」「読むこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」の全領域で全国の平均正答率を上回りました。

「書くこと」…かなり高い 「読むこと」…かなり高い
「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」…かなり高い

【正答率が全国に比べ特に高かった設問の出題趣旨】

- 文章に表れているものの見方について、自分の考えをもつ。

【正答率が全国に比べ特に低かった設問の出題趣旨】

- 複数の資料から必要な情報を読み取る。

◎数量や図形についての基礎的知識・技能をみる「数学A」

全体としての結果は全国平均正答率より高い結果となっています。また、数学の領域「数と式」「図形」「関数」「資料の活用」の全領域で全国の平均正答率を上回りました。

「数と式」…やや高い 「図形」…かなり高い
「関数」…やや高い 「資料の活用」…かなり高い

【正答率が全国に比べ特に高かった設問の出題趣旨】

- 線分の垂直二等分線の作図の方法について理解している。
- 記号で表された図形の構成要素間の関係を読み取ることができる。
- 三角形の外角とそれと隣り合わない2つの内角の和の関係を理解している。
- 一次関数 $y = ax + b$ について a と b の値とグラフの特徴を関連づけて理解している。
- 確立の意味を理解している。

【正答率が全国に比べ特に低かった設問の出題趣旨】

- 着目する必要がある数量を見だし、その数量に着目し、連立二元一次方程式をつくることができる。
- 簡単な連立二元一次方程式を解くことができる。
- 関数の意味を理解している。
- 比例の関係を式に表すことができる。
- 反比例の意味を理解している。

◎知識・技能を活用する力をみる「数学B」

全体としての結果は全国平均正答率よりかなり高い結果となっています。また、数学の領域「数と式」「図形」「関数」「資料の活用」の全領域で全国の平均正答率を上回りました。

【正答率が全国に比べ特に高かった設問の出題趣旨】

- 事柄が成り立たない理由を説明する場面で、反例を上げることで、その説明を完成することができる。
- ある場合の得点を樹形図を利用して求めることで、与えられた情報を分類整理することができる。
- グラフの特徴を事象に即して解釈し、結果を改善することができる。

【正答率が全国に比べ特に低かった設問の出題趣旨】

- 図形の性質を、構想を立てて証明することができる。
- 不確定な事象の起こりやすさの傾向を捉え、判断の理由を説明することができる。
- グラフの特徴を事象に即して解釈し、結果を改善して問題を解決する方法を説明することができる。

【生活面に関する調査から】**【本校の長所となる生徒の実態】**

- 朝食や睡眠時間、起床時刻など、基本的な生活習慣は良好である。
- ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがある。
- 将来の夢や目標を持っている。
- 普段（月～金曜日）、1日当たりのテレビゲーム（コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む）をする時間はあまり長くない。
- 家の人（兄弟姉妹を除く）と学校での出来事について話をする。
- 学校の規則を守っている。
- 人の気持ちがわかる人間になりたいと考えている。

【課題となる生徒の実態】

- 難しいことに失敗を恐れず挑戦することがやや苦手である。
- 自分には良いところがあると思わない傾向がある。
- 普段、休日ともに家庭学習はしているが、時間が少ない傾向がある。
- 家で、自分で計画を立てて勉強することが苦手な傾向がある。
- 普段の日のテレビ・ビデオ・DVDにかける時間が長い傾向がある。
- 普段、読書をするのが少ない傾向がある。
- ニュース番組は見ているが、新聞はあまり読まない傾向がある。

今回の学力調査、生活面に関する調査から本校の3年生の長所や課題が見えてきました。今後学校では、長所はさらに伸ばし、課題については、改善の方向に向かうよう、教科指導、学級経営、生徒指導等を見直し、家庭との連携を図りながら取り組んでいきたいと考えています。今後ともご協力を宜しくお願い致します。